

令和6年度 社会福祉法人若草会 法人本部 事業計画

基本方針	事業計画 (Plan)		
	項目	内容 (数値・実施時期等)	
事業基盤の強化	稼働率 (数値目標) 及び予算執行	<ul style="list-style-type: none"> ・公認会計士による財務会計に係る点検等を毎月行い、財政運営の安定確保に努める ・稼働率向上や加算算定による収益改善計画の数値化、経費の継続的な見直しを進める ・サービス費 (収入) 及び事業支出について、各事業所で確認を行う 	通年
	建物、設備等の計画的なメンテナンス	<ul style="list-style-type: none"> ・各拠点において長期的視点での修繕計画を作成し、老朽化、設備の経年劣化に関して修繕等を実施する また、大規模修繕に関しては国庫補助等の助成金申請を行い3年程度 (中期的) のスパンでの実施を目指す 設備によっては保守契約、リース契約への切り替えを検討し、長期的な経費の削減を図る 令和6年度決定事項としては助成金で採択された、各拠点への蓄電池設置、特殊浴槽の設置を6月に予定する。 	通年
	人材確保	<ul style="list-style-type: none"> 利用者サービスと法人運営の質の低下をきたさないよう、専任職員と各事業職員とが連携しながら次の取り組みを実践する ・民間就活企業が実施する就職フェアへの参加 ・東大阪商工会議所が実施する企業合同説明会への参加 ・就活サイトへの登録、各種学校訪問等による学生の就職活動動向への対応 ・ダイバーシティの推進による多様な雇用対策 ・各種実習、ボランティア受け入れによる職業理解等の醸成 ・学校及び公的機関との繋がり強化 	通年
	中長期計画の策定実施	第2次若草会中長期計画策定及び計画を実施する (令和6年度から令和10年度)	通年
	5S活動の実施	整理・整頓・清潔・清掃・しつけ (習慣や意識づけ) 意識した活動を法人全体として実施し、業務の効率化、安全性の確保、快適な職場環境の実現を目指す。	通年
	各種委員会運営	権利擁護委員会、災害対策委員会、感染対策委員会等の法定委員会に加え、働き方等に関する委員会も含めて各事業よりメンバーを選抜し実施し、法人全体に活動内容共有等による基盤強化に努める	通年
	職員の質の向上	人材育成・定着	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者サービスの向上と職員のスキルアップ並びに将来の事業運営責任者の育成を図るため、体系的、継続的な研修を実施する。また、引き続きオンライン研修サービスの活用を行う ・離職防止・職場定着を図るため、新規採用職員に対しては、「法人の歴史」や「障がい者の理解」等の基礎的研修に加え、きめ細かいフォロー体制を行う ・互いを認め合う職場環境の強化に努める
自己啓発の機会の確保		国家資格取得に対し、取得費用及び休暇について充実させる	通年
事業理解の促進		職員交流研修の実施継続及び事業内容共有会の開催する。	通年
サービスの質の向上 x	アセスメント等の強化	各事業において利用者個々に着目したアセスメント、支援計画、意思決定などの必要性の再確認及び具体的なツール等を摸索する。	通年
	高齢障害者の支援の充実	各事業の障害特性に応じた支援を実施するために、web研修、外部研修会への参加、外部関係機関との連携の強化を図る	通年
	リスクマネジメントの強化	リスクマネジメント委員会を中心とした事故軽減につながる啓発機会の確保する。BCPの周知及び研修、訓練の実施する。	通年
社会参加 地域貢献	SDG s の取り組み	民間企業と連携して、SDG s の取り組みを行う。SDG s に関連するイベント等への参加及び受け入れを行う。	通年
	各事業特性等を活用した貢献活動の摸索	コロナ禍後の地域との繋がり、地域ニーズと利用者関与を両立できるような活動を検討 (一部実施)	通年
	福祉人材の養成	安価での移動支援従業者及び行動援護従業者養成研修を実施する。	通年

令和6年度 社会福祉法人若草会 若草園 事業計画

事業概要				
生活介護事業 契約利用者数		60名（令和6年3月現在）		
基本方針	事業計画（Plan）			
	項目	内容（数値・実施時期等）		
事業基盤の強化	業務改善	・ 残業ゼロを目標に、支援記録ソフト等の活用を進める		通年
	多様な人材の活用	・ 限られた人材を活かせるような業務の振り分けを行う		通年
	5S活動の実施	整理・整頓・清潔・清掃・しつけ（習慣や意識づけ）意識した活動を実施し、業務の効率化、安全性の確保、快適な職場環境の実現を目指す。		通年
	各種書面の整理	・ 利用者ケース、支援記録、個別支援計画等各種書面の整理を行い、不備がないか確認する		通年
職員の質の向上	支援力向上のための内部研修を実施	・ 委員会、グループ会議などを活用し支援、権利擁護、承認の研修を行い、支援力向上を目指す		通年
	専門性の向上	・ 強度行動障害の支援力強化 ・ 計画的な研修の受講		通年
	新人職員のフォロー	・ 短期間での振り返りを取り入れる		通年
サービスの質の向上	アセスメントシートの整理	・ 書式をほのほのに合わせる ・ 面談ごとにアセスメントの見直しをおこなう		通年
	マニュアルの整備	・ 業務の把握と分析を行う ・ 業務マニュアルの作成		随時
	権利擁護意識の向上	・ 権利擁護に関する勉強会の開催。グループ会議内		通年
	事故・ヒヤリハットの提出率をあげる	・ ヒヤリを提出した職員を評価(表彰等) ・ 事故検証の機会を設ける		通年
社会参加 地域貢献	ボランティアの充実	・ 月1回土曜日を基本にボランティアを依頼する。 ・ クラフトボランティアの継続実施。保育所との交流の再開		通年
	自主製品を通じて地域とつながる	・ 販売を伴うイベントには積極的に参加し、地域とつながる機会を確保する		通年
	各種実習生の受け入れ	移動支援従業者養成研修（知的課程）及び社会福祉士実習など積極的に受け入れる		通年

事業概要				
生活介護介護事業 契約利用者数		50名 (令和6年3月現在)		
基本方針	事業計画 (Plan)			
	項目	内容 (数値・実施時期等)		
事業基盤の強化	安定した事業運営	<ul style="list-style-type: none"> ・業務の効率化・改善を図り、利用者へのサービス提供の充実を図る ・利用者・家族ニーズを把握し、継続的な利用者獲得を実施し、稼働率9割を目指す ・設備等の不具合について、運営の支障をきたすことのないよう、定期的な点検・メンテナンスを行い施設の品質を維持する 		通年
	5S活動の実施	整理・整頓・清潔・清掃・しつけ (習慣や意識づけ) 意識した活動を法人全体として実施し、業務の効率化、安全性の確保、快適な職場環境の実現を目指す。		通年
職員の質の向上	施設内研修の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・年度初めの全体勉強会の開催 ・3か月に1回定期的な常勤勉強会の開催 		全体1回 年3回
	職員間のチームワーク構築	<ul style="list-style-type: none"> ・会議の活性化に向けたグループワークの導入による職員間関係構築と質の向上 ・職員茶話会の開催 		毎月 年2回
	事業間の連携強化	<ul style="list-style-type: none"> ・法人内の事業内容の理解の機会 ・法人外他事業所との交流の機会 		年2回 年1回
サービスの質の向上	健康管理	<ul style="list-style-type: none"> ・健康診断結果・体重管理・服薬管理等看護師だけでなく職員理解の向上と障がい特性や疾病の勉強機会の提供 		通年
	日中活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな日中活動機会の計画実施 ・活動時の実施報告と振り返りの実施 		通年
	定期的な支援内容の見直し・向上	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の個々の状況を把握し、モニタリング以外での見直しの意識強化を図る 		年2回
社会参加 地域への貢献	継続的なボランティアの受け入れと開拓	<ul style="list-style-type: none"> ・現在受け入れしているボランティアは継続的に受け入れを実施し、新たな活動として2つ以上のボランティアグループと繋がり、新しい出会いや関わりを広げていく 		通年
	事業所スペースの有効活用	<ul style="list-style-type: none"> ・貸室だけでなく、どのような活用法があるかの提案をSNSを通じて発信し、利用へつなげる 		通年
	地域のイベントの参加	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で開催しているイベントなどの情報収集を行い、利用者とともに積極的に参加し、つながりの輪を広げる ・繋がりによりマッチングした方・団体と事業活動の協力者になってもらい、利用者さんへの社会参加や職員にも地域貢献活動へのやりがいにつなげる 		通年

事業概要				
就労継続支援B型		契約利用者数	23名（令和6年3月現在）	
基本方針	事業計画（Plan）			
	項目	内容（数値・実施時期等）		
事業基盤の強化	安定した事業運営	<ul style="list-style-type: none"> ・平均稼働率90%の達成 ・新規利用者の獲得（積極的な支援学校の実習受け入れ及び施設見学会を適宜設定） ・工賃アップによる報酬単価増 ・業務を整理し、計画性のある収支管理、財政基盤の強化 		通年
	5S活動の実施	整理・整頓・清潔・清掃・しつけ（習慣や意識づけ）意識した活動を実施し、業務の効率化、安全性の確保、快適な職場環境の実現を目指す。		通年
職員の質の向上	専門性の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・就労全般に関する知識の習得、意識の向上 ・権利擁護意識の向上のため、施設内外研修の受講 ・利用者の特性に応じた支援を行うため、定期的なケース会議の実施 ・職員の接遇マナー向上 		通年
	事務的機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・IT機器の適切な活用を行い、生産性の向上（残務軽減）を図る ・報告・連絡・相談を適宜行い、組織力強化に繋げていく。 ・職責に応じた役割分担の遂行（適切な権限委譲） 		通年
サービスの質の向上	本人中心の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の自己決定支援として本院部会を開催、意見交換ができる場面を設定し、話し合で事を進めて行くことを理解してもらえるよう支援する ・本人に応じた、将来の準備に向けた支援の展開 ・福祉サービスの上手な活用を提案 ・工賃獲得の強化 ・高齢化対策、対応について検討及び準備を行う。（高齢福祉との連携強化） 		通年
	余暇活動等、健康面の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・働くための体力作りと生活習慣病対策の実施 ・本人部会で決定した行事を担当利用者と共に実行 ・健康診断結果を家族と共有しながら、有効な活用を行う。 ・健康的に働ける環境調整に努める（感染症対策含む） 		通年
地域への貢献	地域ニーズに合った取り組みの展開	<ul style="list-style-type: none"> ・働く活動の中で地域の草刈り作業の受託、新たに、地域に根差した洗車作業を行い、地域の社会資源としての役割の遂行 ・地域ふれあい祭りの会場としてイベント開催を行い、地域の方々とのふれあいの機会と障害福祉の理解に繋げる 		通年
	SDGsの取り組みとして（地域共生社会づくりに向けて）	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年に引き続き、地域の中で企業と連携し、余剰食品の有効活用として、食の貧困を抱える子供たちが集うこども食堂へ食品寄贈を仕事として担う ・今年度から運搬だけでなく仕組みづくり、企業とのコーディネートも行い東大阪モデル（若草会プロジェクト）として実施 		通年

令和6年度 社会福祉法人若草会 共同生活援助 事業計画

事業概要			
わかき第一 契約利用者 6名 わかき第二 契約利用者 5名 ひだまり 契約利用者 6名 (令和6年3月現在)			
基本方針	事業計画 (Plan)		
	項目	内容 (数値・実施時期等)	
事業基盤の強化	欠員の充足	新規受け入れ (満床へ) の実施及び集中対応	
	夜間帯事業との連携	SS等夜間帯の事業と連携し、効果的なマンパワーの活用を模索する	
	医療連携の強化	往診医及び訪問看護、施設看護師、リハなどとの情報共有方法及び機会設定の模索	
	5S活動の実施	衣食住の視点で生活環境の見直し、維持	
	情報収集	他法人事業所の見学等による情報収集	
職員の質の向上	情報共有	他事業と共通フォーマットにおけるアセスメントの実施	
	職員間の連携・交流	交流研修等活用し事業間、職員間の連携を図る	
サービスの質の向上	利用支援内容検討	他事業所を交え、ケース検討の機会設定	
	イベントの実施	季節に応じたイベントの実施。誕生日会の開催	
地域への貢献	自治会への参加	自治会当番を担う 自治会清掃への参加	

令和6年度 社会福祉法人若草会 短期入所事業 事業計画

事業概要			
年間のべ利用者数		1900名（令和6年3月末予定）	
基本方針	事業計画（Plan）		
	項目	内容（数値・実施時期等）	
事業基盤の強化	稼働率	新規利用契約及び利用の積極提案を行い、稼働率を上げる（目標稼働率60%）	半年
	夜間帯事業との連携	G H等夜間帯の事業と連携し、効果的なマンパワーの活用を模索する	半年
	5S活動の実施	整理・整頓・清潔・清掃・しつけ（習慣や意識づけ）意識した活動を実施し、業務の効率化、安全性の確保、快適な職場環境の実現を目指す。	通年
	医療的ケア必要者の受け入れ	通所看護師と連携し、医療的ケア必要者の受け入れを検討及び実施する	半年
職員の質の向上	しあわせおすそわけ	会議等において、支援の中での喜びや発見を共有する	通年
	情報共有	他事業と共通フォーマットにおけるアセスメントの実施	年1回
	リスクマネジメント	業務手順を遵守し、改善必要なものは見直す。毎月の会議で報告内容を共有し、特記的な事故については検証、改善策を検討する	通年
サービスの質の向上	個別支援の充実	障害特性に応じて環境、支援方法、生活リズムに合わせた過ごし方を見直し、支援マニュアルに反映する。特に強度行動障害に対する理解を深め、支援方法の検討を行う	半年
地域への貢献	法人通所者以外の利用受け入れ	新規利用相談に適時対応	通年
	緊急短期入所	登録継続し、可能な限り受け入れ	通年

令和6年度 社会福祉法人若草会 居宅介護事業 アンサンブル 事業計画

事業概要			
家事援助、通院等介助、身体介護、行動援護、移動支援 契約利用者数 98名 (令和6年3月現在)			
基本方針	事業計画 (Plan)		
	項目	内容 (数値・実施時期等)	
事業基盤の強化	稼働率 (数値目標)	居宅介護・行動援護・移動支援併せた月平均200h稼働	通年
	人材確保・定着のための魅力発信	ヘルパーから聞き取った支援をインスタで月1回以上発信 (#ヘルパーのつぶやき)	1回以上/月
	5S活動の実施	整理・整頓・清潔・清掃・しつけ (習慣や意識づけ) 意識した活動を実施し、業務の効率化、安全性の確保、快適な職場環境の実現を目指す。	通年
	人材確保	登録のみヘルパーへ活動意思確認 (4~5月頃)。実習生、職員知人等へ啓発 (随時)	通年
	人材育成・定着	支援同行を1回と決めずヘルパーの状況に応じて丁寧に育成	通年
職員の質の向上	人材育成	登録ヘルパーへ、毎月、支援依頼通知の際にサポカレの案内 (おすすめ講座)	通年
	各種委員会への参加	法人設置の委員会へ参画し、各分野の理解を深める。	通年
	関係機関との連携	複数事業利用している利用者のタイムリーな情報共有	通年
サービスの質の向上	障害特性に応じた支援の充実	・ヘルパー勉強会の実施 (年2回以上) ・法人内部研修への参加促し	2回以上/年
	障害特性に応じた支援の充実	利用者状況の共有 (利用者情報カードの活用、その都度得られた情報共有)	通年
	福祉有償運送の継続	福祉有償運送の利用が必要な方への継続的な運行	通年
地域への貢献	福祉人材の養成	法人開催の従業者養成研修 (移動支援・行動援護) への関与	通年

令和6年度 社会福祉法人若草会 相談支援事業 あいん 事業計画

事業概要			
契約利用者数	84名（令和6年3月現在）		
基本方針	事業計画（Plan）		
	項目	内容（数値・実施時期等）	
事業基盤の強化	計画及びモニタリング	業務効率化を図り、計画及びモニタリング件数の維持を図る（月平均35件）	通年
	5S活動の実施	整理・整頓・清潔・清掃・しつけ（習慣や意識づけ）意識した活動を実施し、業務の効率化、安全性の確保、快適な職場環境の実現を目指す。	通年
職員の質の向上	しあわせおすそわけ	定期ミーティングにて、業務上得た前向きな思いを共有する機会を設定する	月1回
	ケース会議	事業を跨いだケース会議の開催	年6回
サービスの質の向上	相談支援専門職で構成される会議への参加	中地域別会議へ参加し、相談支援事業間のネットワーク作り	通年
	GSVへの参加	GSVへの参加継続し、職員育成を図る	通年
地域への貢献	多職種で構成される会議への参加	地域福祉ネットワーク推進会議へ参加し、地域住民及び他職種との関係作り	通年
	地域包括支援センターとの連携	地域包括支援センターとの連携強化	通年
	要支援者避難者の個別避難計画	該当者の個別避難計画の整備	1件